

伊勢神宮の豊受大神宮(外宮)とは

伊勢神宮は、伊勢の山田の原にご鎮座の豊受大神宮(とようけだいじんぐう)をまつる外宮(げくう)を含め125神社の総称である。外宮は、千古の杉が茂げ、広大な敷地内には、屋根の千木や鰹木など細部には内宮と異なる特徴がある。(伊勢神宮のHPを参照)

御祭神は、豊受大御神をお祀る。御神徳：食物・穀物を司る神で、衣食住・産業の守護神である。日本人の「こころ」のふるさとである。



伊勢の火徐橋を渡ると、千古の杉が茂る聖地が現れるところが外宮である。外宮正官とは、豊受大御神をまつる御正官という。正官の左側は多くの参拝者が祈祷をしている正面である。右側は側面である。



豊受大神宮の守護神に祈祷して側面から、安らぎのある人生を念願し、帰宅する参拝者。



外宮神楽殿、御正宮に向かう参道の途中にある建物。神楽殿正面から見学する参拝者。



外宮神楽殿(かぐらでん)正面の近くにある祈祷受付所。神札授与所前では、心が光輝く瞬間である。



伊勢神宮外宮、外宮神楽殿(かぐらでん)正面のから参拝客を撮影。

伊勢神宮の皇大神宮(内宮)とは

伊勢神宮とは、伊勢の宇治の五十鈴(いすず)川上にご鎮座の皇大神宮((こうたいじんぐう)をまつる内宮(ないくう)を含め125神社の総称である。内宮は、五十鈴川のほとりに茂る樹林につつまれ、参道には玉砂利が敷きつめられている新鮮な聖地である。(伊勢神宮のHPを参照)

御祭神は、天照大御神(あまたらすおおみかみ)をお祀る。御神徳:皇室の御祖先の神で、日本人の総氏神とも言われる。日本人の「こころ」のふるさとである。



五十鈴川の清流上にある宇治橋を渡ると参道は深い森と神秘的な空気を感じるところが内宮である。内宮正官とは、皇大神宮をまつる御正官という。正官の左側は伊勢神宮内宮の正面で、多くの参拝者が自分や家内安全を祈っている瞬間。右側は側面である。



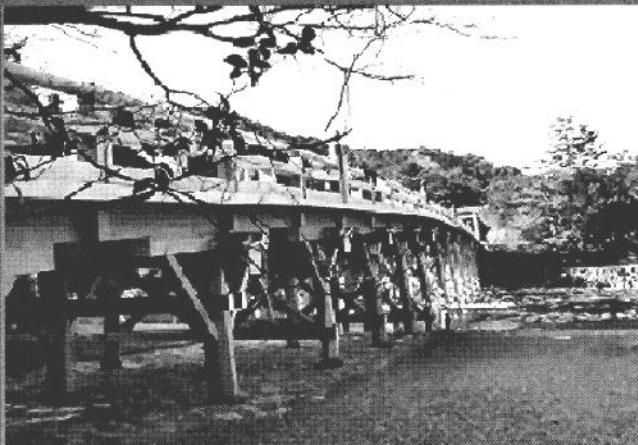
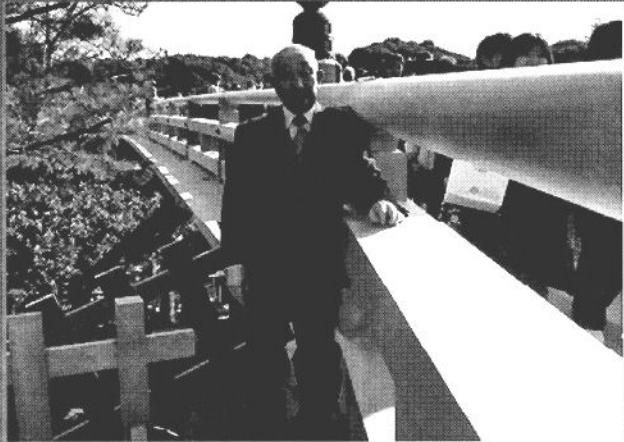
伊勢神宮内宮の神楽殿(かぐらでん)、「祈願」といい神に感謝を捧げ、更なるご加護を願う儀式場である。祈願者は、この中でお祈りを捧げる所である。

伊勢神宮内宮、神楽殿正面の近くにある祈祷受付所。御祈祷は、「御饌(みけ)」と「神楽(かぐら)」に大別するが、祈願の内容を吟味する必要がある。



参拝者のお申し出により、神恩感謝やご祈願の御神樂の奉奏、御饌(みけ)を奉奠しての御祈祷や献金、おふだ・御守などの授与を取る。神宮の御祈祷は、「御饌(みけ)」と「神楽(かぐら)」に大別する。左側は、内宮御樂殿の正面から見学する参拝者を撮影。右側は、献酒が多く積まれているのを撮影。

伊勢神宮の皇大神宮(内宮)の環境



伊勢神宮の皇大神宮(こうたいじんぐう)内宮にある参道の右手斜面を下ると、神路川と島路川が、合流した五十鈴川である。五十鈴川の清流上にある宇治橋(2009年完成)を渡る前には、上方を眺めながら緊張した心の状態。帰る前には、水面を眺めながら安らかな心の状態。伊勢神宮は偉大なる精神の故郷を共振する安らぎの聖地であると痛感する。



伊勢神宮内宮、五十鈴川が流れる近くにある古札納所。自然の環境をリサイクルによって活用できる有用な発想を先人が考案したと思われる。人間は生活の智恵が沸いて来ると社会はよくなる。

五十鈴川が流れる近くで清める参拝者。河川・花・樹木を眺めると見ると「心のふるさと」を思われる。この神秘的な聖川の前に立つと、胸が込み上げ、涙が自然に流れる潜在意識が開発できる気持ちになる。



樹齢数百年の大木の中に新しい「つらら木」として出現している神秘的な樹木に感動する瞬間。この瞬間は、樹木との対話が自然に始まられる。

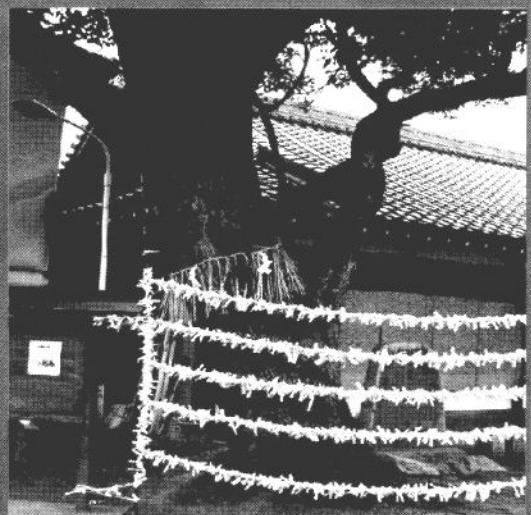


樹木に被害が無いように竹で囲んでいるすばらしい人間の智恵。樹齢数百年の大木と人間との比較すれば、なお神秘性が増大する瞬間。

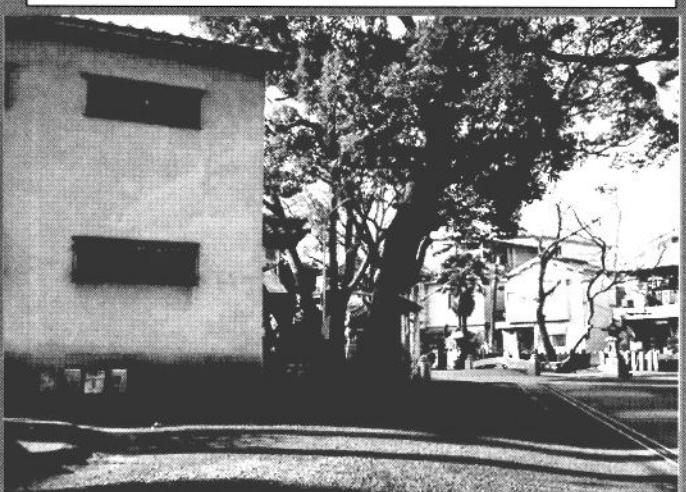
住吉神社の神木と樹木の環境



しめ縄掛け柱と境内神木(楠)の共存



境内神木(楠)の前に飾られている御神籤(くじ)



大空に聳え立つ境内神木(楠)と社務所の一部。傾斜角度は75°

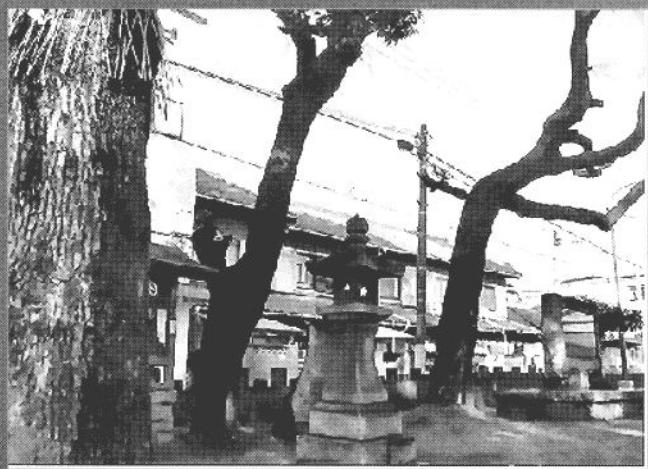
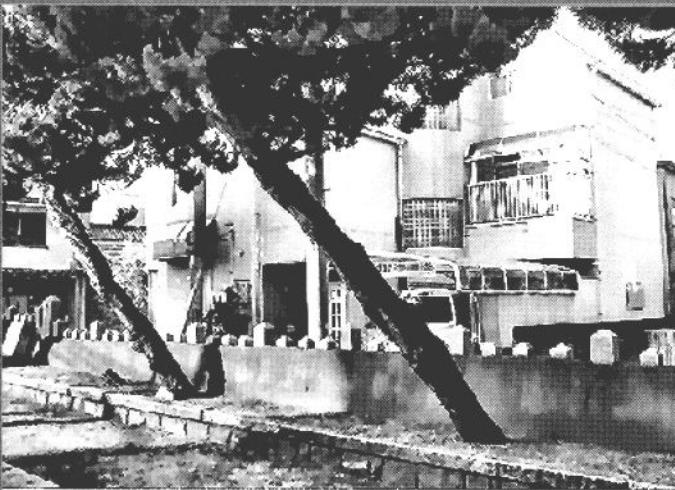


神社本殿と境内樹木から正面大鳥居を一望する夜景。



神社本殿と境内樹木(楠)から正面大鳥居を一望する瞬間。

住吉神社の傾斜木と玉垣の環境



正門付近の傾斜木(カツラギカイブキ)。傾斜角度(左58°、右52°)周辺木は54°、63度。

事平神社北側の傾斜木(櫛:ケヤキ)。傾斜角度(左73°、右78°)



源次郎稻荷神社北側の傾斜木(秋楓)。傾斜角度(左73°、右78°)

淀川戎神社東側の傾斜木(秋楓)。傾斜角度(左36°、右47°)



手水舍西側、台風と神木(秋楓)によって切断された玉垣。玉垣は木の中に食め込まれた状態。



天満・春日・八幡・八百萬神神社南側にある玉垣。人身によって切断された玉垣の上部。

住吉神社の台風による神木の環境



手水車北側にある傾斜木(秋榆)。傾斜角度(左10°、右60°)



手水車北側にある傾斜木(秋榆)。傾斜角度(87°:三日月形)



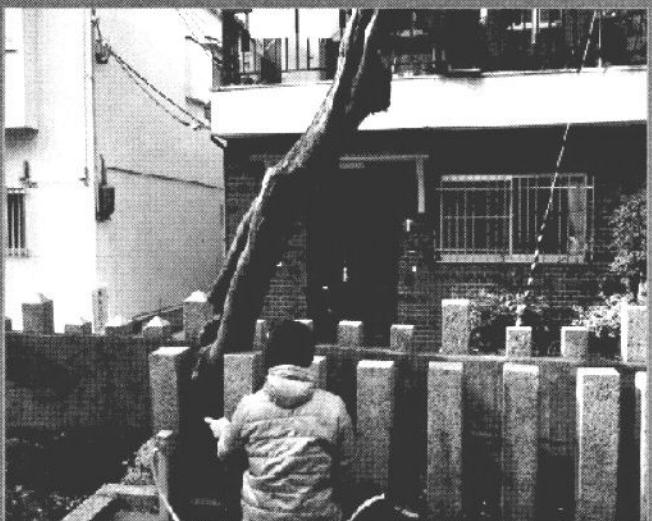
手水車横側にある傾斜木(秋榆)。傾斜角度(左35°、右90°)



手水車横側にある傾斜木(秋榆)は、玉垣の付近にある碑石によって支えられている。



勝雄木稻荷神社北側にある傾斜木(秋榆)。傾斜角度(左5°、中央50°、右50°)



勝雄木稻荷神社北側にある傾斜木(秋榆)。玉垣間の鉄棒によって支えられている。傾斜角度(左68°、右70°)

洞窟写真展(大阪市西淀川区役所)



西淀川区役所5階の大会議室にある講演会場の風景。優雅な雰囲気で熱心に学習する区民。



区民講座のタイトル「神秘的な洞窟宝庫を楽しむ」講演時の展示物(洞窟関連の鉱物・写真・書籍)。



阪本光男のタイトル「阪本カットグラス(薩摩切子)」講演。ビデオ(となりの人間国宝)、薩摩切子とは、大阪のカットグラス、作業工程と歴史等。



沢勲のタイトル「神秘的な洞窟宝庫を楽しむ」講演。ビデオ(ガツンの殿堂入り、ちんぶいぶい)、洞窟モデル・写真の解説、洞窟模型の動画。

洞窟写真展(大阪経済法科大学学園祭)



洞窟に関する著書、大学論集と研究所紀要に掲載した学術研究論文



入り口にある案内文



世界的にユニークな火山溶岩洞窟・石灰岩洞窟、溶岩樹型、風化洞窟等の写真(500点以上)



国際会議・学会・講演会・テレビ出演を2時間に編成(DVD)したのを放映する映像装置



ユネスコ世界遺産洞窟写真展:
日本の石見銀山・米国ハワイ島のキラウエア火山
韓国の济州火山島にある萬丈窟洞窟
トルコのカッパドキアにある人工洞窟写真(約100点)



洞窟にある岩石:
約3億年前から形成された秋芳洞の光輝く鍾乳石。富士山の最高峰付近(標高2630m)にある洞窟の溶岩。静岡県の伊豆大島(3万年前に海面に隆起、噴火の軽石)

洞窟写真展(光LEDトンネル)



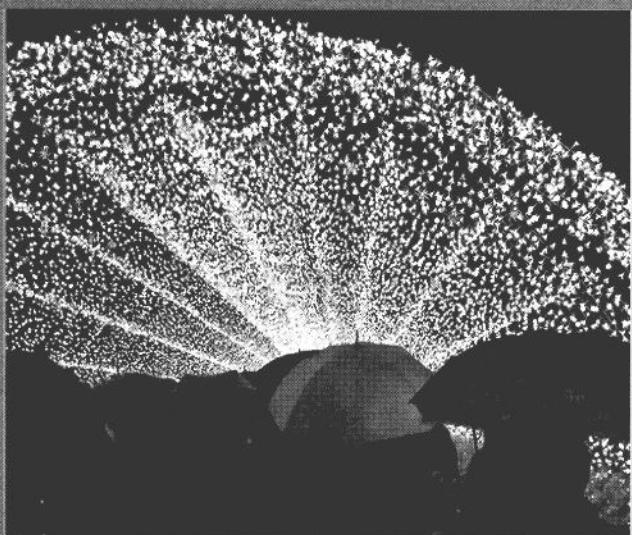
火山の噴火を連想するオーロラLED



溶岩流によって形成した洞窟内部



火山の噴火が赤く流動する現象



溶岩流によって形成した洞窟天井



火山の噴火が舞い上がりを連想



溶岩流によって形成した洞窟外部

洞窟ハウス「洞窟情報サロン」の公開

The Exhibition of Cave House "Cave Information Salon"

沢勲(Isao SAWA) (洞窟環境NET学会会長兼大阪経済法科大学名誉教授)

1. まえがき

民間では類のないユニークなサロン公開の発想は、今から遡ること六十年前である。『松明を掲げて洞窟に入った小学生』は、未来へと続く好奇心の扉を開け、その時の感動を原点に洞窟の研究を続け、近年ようやくその成果を目に見える形でまとめることができた。

2004年の夏には、自宅の床下に「ミニ洞窟」を出現させ、あわせて世界中の主な洞窟の様子が一目でわかる『洞窟科学入門』を刊行。2007年には、別宅の1階に「洞窟ハウス」を、今回(2009年)は、別宅の2階に「洞窟情報サロン」をそれぞれ増設させた。広く洞窟の知識を普及させるため、別宅の1階(洞窟連想の景観)に726点、階段(火山連想の躍動)に200点、2階に160点—計1091点の模型・写真・資料を整え、民間では例のないユニークな洞窟博物館となっている。コントローラーにより溶岩流の運動状態が理解できる仕組みも備えている。

一方、HPも開設し、動画と静止画に区分して、洞窟シアタ-を新設した洞窟サロンの全容をわかりやすく解説している。洞窟は地球史の謎を解く鍵が潜んでいるだけでなく、人類の歴史や現代の我々の実生活と極めて深く関わっています。このささやかな「洞窟情報サロン」が、多くの市民、とりわけ子どもたちの無限の夢と知的好奇心を掻き立てる場となり、洞窟関係者や地域の新名所として広く愛されるサロンになっていくことを願ってやまない。

2. 洞窟情報サロンの内容について

2.1. おもな展示物:

- a. 1Fの前室には、火山溶岩の洞窟写真200枚・石灰岩等の洞窟写真80枚、岩石試料10数点。
- b. 1Fの奥室には、二次生成物の模型175個、溶岩滝および溶岩プール(床下)の模型。
- c. 階段の壁には、高さ530cmの空間に二次生成物の模型200個。
- d. 階段の上には、往復式溶岩流に長さ550cm、地底のマグマが流れ、溶岩が往復する装置。
- e. 2Fの前室には、循環式溶岩流、噴火口(死火山、活火山、側火山、割れ目)。
- f. 2Fの奥室には、火山弾(紡錘形、球形状)、実物、溶岩樹型模型、映像室(洞窟シアタ-)。

2.2. 収録写真と関連モデル

日本(河内風穴、神座風穴、秋芳洞)、韓国(萬丈窟、ビレモツ窟、幻仙窟)、アメリカ(カズムラ洞窟、サーストン洞窟)、ロシア(ゴーレリの溶岩洞窟)、中国(石花洞)およびオーストラリア(ホタルバエ・ヒカリバエ洞窟)など約337点。その他を含むと約1000点)。

2.3. 洞窟モデル

火山溶岩洞窟と石灰岩洞窟等の2次生成物の諸形態、模型に関する解説と4ヶ国語(日英韓中)を用語。調査期間:約45年間。調査地の国名:日・韓・中・米・露・豪・伊・スイス。

インターネット検索のキーワードには、「洞窟情報サロン」の方が早いのでご愛用下さい。

3. おわりに

洞窟は地球史の謎を解く鍵が潜んでいるだけでなく、人類の歴史や現代の我々の実生活と極めて深く関わっている。このささやかな「洞窟情報サロン」が、多くの市民、とりわけ子どもたちの無限の夢と知的好奇心を掻き立てる場となり、洞窟関係者や大阪の新名所として広く愛されるサロンになっていくことを願ってやまない。関係各位に理解とご助言を願う次第である。最後に、サロンの製作に当たりミヨシの立川昌司社長、野口製作所の野口宇司社長と芸術家の吉村明信に感謝の意を表する。

日本洞窟学会第35回大会・秋吉台大会
2009年9月19日(土)~23日(水)

大学講義テキスト『洞窟科学入門－写真と図解』

The Text "A Pictorial Guide to Cave Science" of University Lecture

沢勲 (Isao SAWA) *・鹿島愛彦 (Naruhiko KASHIMA) **・勝間田隆吉 *** (Takayoshi KATSUMATA)

(*洞窟環境NET学会兼大阪経済法科大学名誉教授・**愛媛大学名誉教授・***火山洞窟学会)

1. まえがき

本書は、大学教養課程《洞窟科学》の教科書として企画・執筆したものである。まず、担当者らは、学生の意見を以下のように受け止めた。「《洞窟科学》は、未知の分野であるため、自然・人文両分野にまたがり難解である」「たくさんのがんばったのに理解できなかった」と感じた」「非日常的な世界への好奇心を満足させてくれるが大変特殊で講義の真のねらいや意義が捉えにくい」。そこで、平易で明快な(おもしろくわかりやすい)、暮らしとの関わりが見えてくるような洞窟学の本をつくることに腐心した。

2002年に洞窟講座を担当して7年半の歳月が流れ、受講生は約4000名にも達している。既刊の『洞窟学4ヶ国語(英日韓中)用語集』(2004, 大阪経済法科大学出版会)を骨子としながら補足・再編集したのが『洞窟科学入門－写真と図解』(2006, 大阪経済法科大学出版会)である。新たに発刊した中には「洞窟用語解説」を追加し、「文献目録」を拡充することにより一層の理解が促進されることを期待した。さらに、氷河洞窟や風化洞窟(タフォニ)、湖食洞窟などを補強した点が既出の入門書に比べての特色であろうと自負している。このような成果は、《洞窟科学》の講座開講を認めていただいている大阪経済法科大学理事会のご協力の賜であると感謝している。

2. 教科書の内容

まず、『洞窟学4ヶ国語(英日韓中)用語集』の編集には、沢勲・大橋健・鹿島愛彦・庫本正・藤井厚志・金炳宇・金周煥・勝間田明男の8名が担当した。主な用語は、1.洞窟形態、2.生成物、3.洞窟関連、4.洞窟、5.鉱物、6.岩石、7.洞窟生物、8.カルスト、9.石灰岩洞窟、10.氷河洞窟、11.砂岩洞窟、12.火山・溶岩洞窟、13.溶岩樹型、14.海食作用、15.風化作用、16.花崗岩洞窟、17.礫岩洞窟、18.凝灰岩洞窟の項目に関するものである。

次に、授業に使用している教科書『洞窟科学入門－写真と図解』は下記のような基本方針にもとづいて編集した。内容の構成上で火山洞窟に重きが置かれ過ぎているくらいがあるが、それは北東アジアの火山洞窟の国際比較研究という執筆者等の研究履歴(分野)に起因するものである。Pictorial(写真と図解を中心)で判りやすく、かつ視覚による臨場感を重視し、門外漢である学生や一般読者になじみやすい書とすることを試みた。

編集は、「執筆者の調査地の事例」…写真を使用するのに際して 1.洞窟生物(上野俊一・西川嘉朗)、2.石灰岩洞窟(大橋健・鹿島愛彦・沢勲)、3.氷河洞窟・雪渓洞窟(大橋健・鹿島愛彦・沢勲)、4.火山・溶岩洞窟(大橋健・鹿島愛彦・勝間田隆吉・沢勲)、5.溶岩樹型(川村一之、黒石川由美、宮下弘文、沢勲、立原弘)6.海食崖と海食洞窟(大橋健・沢勲)、7.風化洞窟(タフォニ)(大橋健・沢勲)、8.遺跡洞窟と洞窟壁画(大橋健・沢勲)、9.洞窟の4ヶ国語(日・英・韓・中)用語と系統図(大橋健・鹿島愛彦・沢勲)、10.洞窟用語解説(大橋健・鹿島愛彦・沢勲)である。

3. おわりに

洞窟科学は、近年ますます専門化/分化の傾向を辿りつつあるものの、他方総合アプローチが望まれている。本書は、総合的な視点から洞窟を捉えることをめざし(総合化)、洞窟と人間活動との関係(洞窟環境学的視点)を十分に配慮した。洞窟環境研究の歴史を振り返ってみると洞窟探検が重要な役割を担ってきており、洞窟科学の基礎をなしているが本書では触れていない。2005年において、06年度活用をめざし、僅か3ヶ月という短期間に急ピッチで編集作業を遂行した共同作品である。そのため相互の議論が必ずしも十分ではない。その点は今後の改訂時に克服してゆきたい。多数の図表や写真、文献などを引用したが教科書という体裁上ひとつひとつ詳細を明記することをしていないが、情報処理に関してご協力を頂いた肥塚義明をはじめ関係各位には厚くお礼申し上げる。

日本洞窟学会第35回大会・秋吉台大会
2009年9月19日(土)～23日(水)

実践報告総目録(2007・2008・2009)

研究報告書としては、紀要には〈洞窟と観光と環境問題〉をテーマに「洞窟鉱物と洞窟環境」(鹿島愛彦)など4編、〈人工洞窟と洞窟模型製作〉をテーマに「産業遺構、人工洞窟としての鉱山跡論考」(藤浦淳)など4編、および〈洞窟の系統図と分類基準〉をテーマに1件、計9件を掲載した。実践活動は伊勢神宮と野里住吉神社の環境写真と洞窟写真展ならびに学会講演等を行った。

過去三年間(2007・2008・2009)活動した総目録は次の通りである。すなわち、1.テレビ・ラジオ出演(30回外国12件含む)、2.新聞等記事(59回外国4件含む) 3.写真展(16回外国1件含む) 4.講演(44回外国3件含む) 5.論文と資料(46回外国語3件含む) 6.フィールドワーク(24回外国14件含む)を合わせると219件(外国37件)である。その内容は次の通りである。

	年月日	1.テレビ・ラジオ出演(30回外国12件含む)	組織名
1	2007年06月30日	ナンボDEなんば「夢・偉業を達成した男達!!」再放送	関西テレビ
2	2007年09月19日	ありがとう浜村淳です「洞窟ハウス」	毎日放送
3	2007年09月27日	NHK「関西ラジオワイド」一個人博物館とか自宅博物館」	NHKラジオ第一
4	2007年10月03日	KANSAIニュース-沢洞窟教授宅に「地底の世界模型を再現」	CableTV「K-CAT」
5	2007年10月08日	スーパーNEWSアンカ-「生中継のスタッフ14名」PM5時30分-さわ洞窟ハウス	関西テレビ
6	2007年10月13日	「せやねん」、「スタッフ6名-たむらけんじとなかやまきんに君ほか」 昼12時-さわ洞窟ハウス	毎日テレビ
7	2007年11月24日	一探検ロマン世界遺産-驚異の火山島 命のきらめき-韓国・チエジュ(済州)島-	NHKテレビ総合
8	2007年12月04日	「おはよう朝日です」、「"TREND EXPRESS"サバンナのどう YouKnowん」洞窟ハウス	テレビ朝日
9	2008年01月07日	「Super J チャンネル」、岡山県の日咩坂鍾乳穴の地底湖事件に関するコメント	テレビ朝日
10	2008年04月07日	ズームインSUPER「さわ洞窟ハウス」	読売テレビ
11	2008年05月25日	ガツン! 「さわ洞窟ハウス」殿堂入り(3番目)	テレビ大阪
12	2008年06月07日	一探検ロマン世界遺産-驚異の火山島 命のきらめき-韓国・チエジュ(済州)島-再放送	NHKテレビ総合
13	2008年06月27日	天下無敵! 「コリない趣味王」	テレビ東京
14	2008年08月16日	あさパラ「さわ洞窟ハウス」	読売テレビ
15	2008年09月02日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース PM11時・外国人代表	韓国KCTVテレビ
16	2008年09月02日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース PM7時・外国人代表	韓国KCTVテレビ
17	2008年09月02日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース PM9時・外国人代表	韓国KCTVテレビ
18	2008年09月02日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース・外国人を代表	韓国KBSテレビ
19	2008年09月02日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース・外国人を代表	韓国MBCテレビ
20	2008年09月04日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース・外国人を代表	韓国KBSテレビ
21	2008年09月04日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース・外国人を代表	韓国KCTVテレビ
22	2008年09月04日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース・外国人を代表	韓国MBCテレビ
23	2008年09月05日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース・外国人を代表	韓国KBSテレビ
24	2008年09月08日	国際火山洞窟学シンポジウム参加時のニュース・外国人を代表	韓国MBCテレビ

25	2008年10月31日	済州国際観光学術FORUMに参加した日本代表の感想	韓国JIBSテレビ
26	2008年11月01日	済州国際観光学術FORUMに参加した日本代表の感想	韓国JIBSテレビ
27	2009年05月05日	自宅を改造し洞窟資料館(浜村淳)	毎日放送ラジオ(1179kHz)
28	2009年05月19日	こんちわコンちゃんお昼ですよ(近藤光史)	毎日放送ラジオ(1180kHz)
29	2009年06月03日	ちちんぷいっふい(角純一・小藪千豊)	毎日テレビ(MBC・4ch)
30	2009年10月01日	沖本理事出演、市民の目線から見た里山ガーデンとエコ生活、沖本 裕司	おはよう朝日です

	年月日	2.新聞等記事(59回外国4件含む)	組織名
1	2007年02月24日	洞窟に魅せられた男	大阪日日新聞
2	2007年04月13日	洞窟知つてHPを公開	毎日新聞
3	2007年04月17日	授業の教科書HPを公開	読売新聞
4	2007年04月24日	HPに世界の洞窟300カ所	産経新聞
5	2007年04月25日	沢教授が洞窟教科書をHPで公開	河内新聞
6	2007年08月01日	世界7カ国「洞窟展」きょうから西淀川図書館で	産経新聞
7	2007年08月01日	ー夏休み・親子で楽しもうー『世界の洞窟展』8月30日まで	西淀川区役所の広報「にじよどがわ」No.134
8	2007年08月14日	洞窟気分味わえる・研究家の写真パネル展示「西淀川図書館」	大阪日日新聞
9	2007年08月25日	「さわ洞窟ハウス」一般に公開・好評	河内新聞
10	2007年09月19日	洞窟ハウス・廃材や百均雑貨で改造・子どもたちに冒険心を	毎日新聞
11	2007年10月02日	洞窟教授 空き夜に現る -地底の世界模型で再現	朝日新聞
12	2007年10月03日	洞窟の不思議を知つてね -大学教授が自宅に手づくりハウス	朝日小学生新聞
13	2007年10月27日	大阪市内の住宅に洞くつ?- 大阪経済法科大・沢教授が自宅に再現-	大阪日日新聞
14	2008年03月15日	西淀川区再建なり第2回総会開く、懇親会は西ブロック合同で	関大新聞 第544号
15	2008年03月15日	第1回大阪支部連合会大阪西ブロック・スピーチや カラオケ大会、初の合同新年懇親会開く	関大新聞 第544号
16	2008年06月03日	HP[沢勲70年の歩み]増設	sawaisao.com.5.5
17	2008年06月15日	洞窟の危機を伝えたい 大阪経法大教授NPO設立へ(沢)	産経新聞
18	2008年07月05日	世界の趣味人	河内新聞
19	2008年07月15日	関大工学部創立50周年を記念し懇親会	関大新聞 第546号
20	2008年07月25日	関大工学部創立50周年を記念に電波時計を贈呈-工学部卒有志 と合同懇親会・電友会	関大新聞 第546号
21	2008年07月25日	地球温暖化現象と洞窟	河内新聞
22	2008年07月25日	地球温暖化現象と洞窟	河内新聞

23	2008年09月02日	済州溶岩洞窟、価値を探す、国際火山洞窟学シンポジウム済州大会開幕	済州日報
24	2008年09月03日	世界洞窟専門家ネットワークの場として	済州日報
25	2008年09月16日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第1回 「人がやらんことを」と洞窟ハウス	産経新聞
26	2008年09月17日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第2回 ロマンを求める世界30ヵ国を探検	産経新聞
27	2008年09月18日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第3回 東洋初の発見も感激は複雑	産経新聞
28	2008年09月19日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第4回 心のアンテナで魂の触れ合い	産経新聞
29	2008年09月20日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第5回 子どもに怒ったら簡単に譲らない	産経新聞
30	2008年09月22日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第6回 人間は愛があつてこそ能力發揮	産経新聞
31	2008年09月24日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第7回 針灸に空手道 独自理論で健康維持	産経新聞
32	2008年09月25日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第8回 家業の失敗に恐れなし理系志す	産経新聞
33	2008年09月26日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第9回 不器用でも「心があれば大丈夫」	産経新聞
34	2008年09月27日	新関西笑談連載「愛しの洞窟・愛しき人生」 第10回 心を大切に 品格ある大阪づくりを	産経新聞
35	2008年10月30日	2008韓・中・日済州国際観光学術シンポジウム	済民日報
36	2008年11月01日	観光専門家、済州観光の先進化・革新模索	済民日報
37	2008年11月05日	八尾を環境先進都市に- フェスティバル高い評価-	河内新聞
38	2008年11月18日	文系との連携-企業側期待- 大学関西フォーラム	読売新聞
39	2009年01月01日	いきいき八尾環境フェスター子ども中心に行事-	河内新聞
40	2009年01月29日	環境汚染賠償責任保険、 どう普及させます？(八頭司)	フジサンケイ ビジネスアイ
41	2009年03月15日	大阪経済法科大学沢教授の退職記念祝賀会(沢)	河内新聞
42	2009年04月01日	エクステリアアイデア118(沖本)	学習研究社 ドゥーバ14月号
43	2009年04月21日	政府は21世紀型産業の推進急げ(論風)(三宅芳夫)	フジサンケイ ビジネスアイ
44	2009年04月21日	保険代理店を経営(八頭司)	日刊工業新聞
45	2009年04月25日	洞窟の神秘を再現する 「洞窟情報サロン」初公開(沢)	河内新聞
46	2009年05月05日	自宅を改造し洞窟資料館(沢)	毎日新聞
47	2009年05月22日	環境汚染問題と損保会社のあり方(八頭司)	保険毎日新聞
48	2009年05月25日	NPO法人洞窟環境NET学会、理事会で初顔合わせ(沢)	河内新聞
49	2009年06月27日	洞窟の魅力発掘-模型・溶岩など展示「子供的好奇心刺激」(沢)	産経新聞
50	2009年07月01日	手づくりの洞窟博物館「洞窟情報サロン公開」(沢)	日本一明るい経済新聞
51	2009年07月04日	洞窟研究 自宅に資料館(沢)	読売新聞

52	2009年07月18日	自宅開放、集う場所に(洞窟再現)(沢)	朝日新聞
53	2009年08月15日	学びの区民連続講座「わがまち 西淀川区って こんなん しつと こ！」	西淀川区役所の広報 にしよどがわ
54	2009年10月01日	ユニークな展示物で夢を与える斬新なサロン	COMVO Vol.138
55	2009年10月05日	ますます充実 洞窟情報サロントルコの住居模型入手	河内新聞
56	2009年11月05日	神秘的な洞窟写真公開—大阪経法大で-	産経新聞
57	2009年11月15日	理系初の学長・校友会会长就任祝う工卒代議員と 電友会が合同で	関大新聞
58	2009年11月15日	沢教授の「洞窟展」大好評—大阪経法大・経法祭で-	河内新聞
59	2010年01月01日	沢勲会長が河内新聞社の名誉顧問に就任	河内新聞

	年月日	3. 写真展(16回外国1件含む)	開催場所
1	2007年04月04日	世界の洞窟写真展	大阪経済法科大学1号館
2	2007年08月01日	世界の洞窟展(30日間)	西淀川区役所図書館
3	2007年10月21日	いきいき八尾環境フェスティバル2007(世界の洞窟展)	大阪経済法科大学1号館
4	2008年06月04日	世界の洞窟写真展(10日間)	大阪経済法科大学1号館
5	2008年09月02日	国際会議 济州大会(Cave Photographs of Jeju Island)	The 13th International Symposium on Vulcanospeleology (Jeju Island)
6	2008年10月26日	いきいき八尾環境フェスティバル2008(世界の洞窟展)	大阪経済法科大学1号館
7	2009年06月22日	世界の洞窟展(4日間)	大阪経済法科大学1号館
8	2009年11月07日	神秘的な洞窟の世界—「世界遺産 洞窟写真展」(2日間)	大阪経済法科大学(3号館教室)
9	2009年11月07日	約3億年前から形成された秋芳洞にある光輝く鍾乳石	大阪経済法科大学(3号館教室)
10	2009年11月07日	富士山(噴火時10万年前～約1万年前)の最高峰付近 (標高2630m)にある洞窟の溶岩	大阪経済法科大学(3号館教室)
11	2009年11月07日	静岡県伊豆大島の軽石(3万年前に海面に隆起、 100～200年一度の爆発、最近1912年～14年に噴火)	大阪経済法科大学(3号館教室)
12	2009年11月07日	洞窟関連の書籍と論文	大阪経済法科大学(3号館教室)
13	2009年11月07日	洞窟関連のDVD上映	大阪経済法科大学(3号館教室)
14	2009年12月09日	石灰岩洞窟の写真と石灰岩と書籍	相馬達雄弁護士忘年会 (ANAクラウンプラザホテル)
15	2009年12月16日	石灰岩洞窟の写真と石灰岩・玄武岩・岩塩と書籍	西淀川区「学びの区民連続講座」 大阪市西淀川区役所大會議室
16	2010年03月02日	石灰岩洞窟の写真(1ヶ月間)	大阪市西淀川区役所図書館

	年月日	4. 講演 (44回外国3件含む)	組織名
1	2007年05月21日	島嶼カルスト南大東島と星野洞、 鹿島 愛彦	大阪経済法科大学 科学技術研究所 学術交流講演会
2	2007年05月21日	鍾乳石の分類と種類について、 鹿島 愛彦	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
3	2007年06月14日	日本の新聞の現状と課題、 梶川 伸	大阪経済法科大学 科学技術研究所 研究例会
4	2007年08月24日	世界の洞窟展の解説	西淀川区役所図書館多目的室
5	2007年10月11日	メルボルンの都市発展と都市プラン、 野 裕	大阪経済法科大学 科学技術研究所 研究例会
6	2007年11月08日	環境商品から見た生活経済 八頭司 彰久	大阪経済法科大学 科学技術研究所 研究例会

7	2008年05月26日	マスコミがやってきた、 嶋谷 泰典	大阪経済法科大学 講座「情報科学論」
8	2008年07月03日	石灰岩洞窟の形成過程、 鹿島 愛彦	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
9	2008年07月03日	地球温暖化現象と洞窟、 鹿島 愛彦	大阪経済法科大学 地域総合研究所 学術交流講演会
10	2008年08月24日	島根県大田市、世界遺産、石見銀山の洞窟観察と鍾乳石、 沢勲・仲野義文	日本洞窟学会第34回大会 (浜松大会)
11	2008年08月24日	韓国、世界遺産、濟州島溶岩洞窟、溶岩の螢光X線分析・X線回折・年代測定・偏光顕微鏡観察研究,沢勲・鹿島愛彦	日本洞窟学会第34回大会 (浜松大会)
12	2008年09月02日	Cave Photographs of Jeju Island, 沢勲・鹿島愛彦・金昌植	The 13th International Symposium on Vulcanospeleology (Jeju Island)
13	2008年09月02日	Many Forms of Secondary Feature in Lava Cave、 沢 勲	The 13th International Symposium on Vulcanospeleology (Jeju Island)
14	2008年09月02日	Studies of XRF Analysis, X-ray Analysis, K-Ar Age Determination and Polarization-Microscope for Lava, Jeju Lava Caves, Korea, 沢勲・鹿島愛彦	The 13th International Symposium on Vulcanospeleology (Jeju Island)
15	2008年10月23日	サブプライム問題が地域経済に及ぼす影響、 三宅 芳夫	大阪経済法科大学 地域総合研究所 研究例会
16	2008年10月31日	自然洞窟の観光資源化方案	2008年韓中日濟州国際観光学術 FORUM
17	2008年11月13日	地域から見た環境保険研究-我が国における損害保険業界を中心として-,八頭司 彰久	大阪経済法科大学 地域総合研究所 研究例会
18	2008年12月04日	地球を知つて環境を知ろう、 藤浦 淳	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
19	2008年12月11日	古都の都市づくり思想一戦前期京都の都市計画一、 上野 裕	大阪経済法科大学 地域総合研究所 研究例会
20	2009年04月26日	洞窟情報サロン見学	西淀川区野里子供会の有志
21	2009年05月28日	洞窟鉱物と洞窟環境、鹿島 愛彦	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
22	2009年06月03日	学びの区民連続講座(企画会議)	西淀川区人権啓発推進協議会・同区 生涯学習区民会議共催
23	2009年06月03日	自宅を使った文化的な試みを見学する団体(下見の協議)	築港ARC(アートリースセンタ- by Outenin)
24	2009年06月05日	洞窟情報サロン見学	関西大学理工学部評議員有志
25	2009年06月13日	洞窟の自然環境と人間について	関西大学千里山法律学会OBの睦法 会
26	2009年07月18日	自宅を使った洞窟情報サロンの社会的な価値	築港ARC(アートリースセンタ- by Outenin)
27	2009年08月11日	洞窟情報サロンの展示品について	大阪大学 外国語学部・文学部学生有志
28	2009年08月14日	洞窟情報サロンの展示品について	兵庫県宝塚市民有志
29	2009年09月20日	大学講義テキスト『洞窟科学入門－写真と図解』、 沢勲・鹿島愛彦・勝間田隆吉	日本洞窟学会第35回大会・ 秋吉台大会
30	2009年09月20日	洞窟ハウス「洞窟情報サロン」の公開,沢勲	日本洞窟学会第35回大会・ 秋吉台大会
31	2009年09月20日	洞窟情報サロンの展示品について	八尾市民の有志
32	2009年09月30日	洞窟情報サロンの展示品について	(社)アジア協会アジア友の会
33	2009年10月13日	毎日TV(となりのマエストロ)取材として	東京の毎日TV系の やんわか商店TV制作のディレクター
34	2009年11月25日	さわ洞窟ハウス	関西大学理工学部卒(西淀川区民)
35	2009年11月26日	洞窟情報サロンについて	(社)アジア協会アジア友の会
36	2009年11月30日	洞窟情報サロンについて見学	大阪社会福祉協議会 大阪市民ボランティア情報センター
37	2009年12月05日	さわ洞窟ハウスについて	阿倍野区民

38	2009年12月08日	洞窟情報サロンについて	西淀川区「学びの区民連続講座」企画会議メンバー
39	2009年12月09日	神秘的な洞窟光景を楽しむ	相馬会の忘年会
40	2009年12月10日	産業遺構、人工洞窟としての鉱山、藤浦 淳	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
41	2009年12月16日	神秘的な洞窟宝庫を楽しむ	学びの区民講座-「わが町 西淀川区」
42	2010年01月21日	洞窟の話し	(社)アジア協会アジア友の会
43	2010年02月09日	さわ洞窟ハウスを楽しむ方法	学びの区民講座-「わが町 西淀川区」
44	2010年02月17日	さわ洞窟ハウスの動画と静止画から洞窟を楽しむ	学びの区民講座-「わが町 西淀川区」

	年月日	5. 論文と資料(46回外国語3件含む)	雑誌名
1	2007年02月28日	静岡県富士宮市、立堀風穴より産出した溶岩の蛍光X線分析と溶岩つらら石の偏光顕微鏡観察、 沢 真・古山勝彦・勝間田隆吉・宮下弘文・伊東典夫・鹿島愛彦	大阪経済法科大学論集、 92/、1-30、2007。
2	2007年03月31日	韓国、日本、ロシアにある溶岩洞窟形成層の蛍光X線分析と偏光顕微鏡的研究、沢 真・古山勝彦・大橋健・鹿島愛彦	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、11/、41-55、2007。
3	2007年03月31日	ITによる立ち方(空手道)のモデルと4ヶ国語(日韓英中)用語、 沢 真・肥塚義明・樋口豊治・長田眞男	大阪経済法科大学論集、 93/、1-36、2007。
4	2007年12月10日	溶岩洞窟の3ヶ国語(日英韓)形成モデルについて(1)、 沢 真・大橋健	Caving Journal, 31/、29-32, 2007.
5	2008年03月31日	島嶼カルスト、南大東島星野洞について、 鹿島 愛彦	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、3-14、2008。
6	2008年03月31日	島根県大田市、世界遺産、石見銀山の洞窟観察と鍾乳石、 沢 真・仲野義文	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、15-29、2008。
7	2008年03月31日	マスコミ論のアンケート結果と考察-講義中のアンケートの情報処理-、 由良 薫	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、77-92、2008。
8	2008年03月31日	日本の新聞の現状と課題、 梶川 伸	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、93-109、2008。
9	2008年03月31日	環境商品から見た生活経済-損害保険業界を中心として-、 八頭司彰久	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、111-126、2008。
10	2008年03月31日	第二次大戦後のメルボルンの大都市圏計画と都市発展、 上野 裕	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、127-136、2008。
11	2008年03月31日	中小企業に関するコンプライアンスの考察-固有の問題と資源の 最適利用-、三宅芳夫	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、139-150、2008。
12	2008年03月31日	ITによる健康科学の血液と尿検査の統計解析-血液一般・肝機能・腎機能・代謝系・糖尿病の検査-、 沢 真・浅見好正・肥塚義明	大阪経済法科大学論集、 94/、1-42、2008。
13	2008年03月31日	On the Formation Process Model of Speleothem in Lava Cave、 沢 真・大橋健・肥塚義明	大阪経済法科大学科学技術研究所 紀要、12/、55-76、2008。
14	2008年04月10日	溶岩洞窟の3ヶ国語(日英韓)形成モデルについて(2)、 沢 真・大橋健	Caving Journal, 32/、33-38, 2008.
15	2008年09月02日	Many Forms of Secondary Feature in Lava Cave、 沢 真・大橋健・肥塚義明・鹿島愛彦・勝間田隆吉	The 13th International Symposium on Vulcanospeleology (Jeju Island), 13/、 32-33, 2008.
16	2008年09月02日	Studies of XRF Analysis, X-ray Analysis, K-Ar Age Determination and Polarization-Microscope for Lava, Jeju Lava Caves, Korea、 沢 真・鹿島愛彦	The 13th International Symposium on Vulcanospeleology (Jeju Island), 13/、 29-31, 2008.
17	2008年10月31日	自然洞窟の観光資源化方案、 沢 真・金昌植	韓中日济州国際観光学術FORUM、 /59-72, 2008。
18	2008年11月28日	ITによる血液と尿の検査値間の相関性 -血液一般・肝機能・腎機能・代謝系の検査-、 沢真・大橋健・肥塚義明	大阪経済法科大学論集、 95/、1-48、2008。

19	2009年01月31日	血液と尿検査に対する経年変化のVigotモデルと線形特性の研究—血液一般・肝機能・腎機能・代謝系・血糖の検査—	大阪経済法科大学論集、96/, 1-42, 2009。
20	2009年01月31日	On the Formation Process Model of Speleothem in Lava Cave、沢勲・大橋健・肥塚義明	大阪経済法科大学科学技術研究所紀要、12/, 55-76, 2008。
21	2009年02月01日	第4回(12月16日)講演の報告	西淀川区生涯学習だより第58号
22	2009年03月31日	戦前期における京都の都市計画、上野 裕	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 3-15, 2009。
23	2009年03月31日	学生の作文に見られる書き言葉表現、梶川 伸	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 63-78, 2009。
24	2009年03月31日	インターネット時代の新聞社説の比較研究—望まれる「地域の視点」—、由良 薫	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 79-89, 2009。
25	2009年03月31日	地域から見た環境保険の研究、八頭司 彰久	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 91-109, 2009。
26	2009年03月31日	サブプライム問題に関する地域経済の影響、三宅 芳夫	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 109-120, 2009。
27	2009年03月31日	地球温暖化現象と洞窟、鹿島 愛彦	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 121-130, 2009。
28	2009年03月31日	デジア太平洋地域における洞窟の環境と観光—韓国・日本・中国・米国・ロシアを例に—、沢 勲・上野裕・金昌植	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 131-144, 2009。
29	2009年03月31日	化石と鉱物-災害からの環境論考、藤浦 淳	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、1/, 145-159, 2009。
30	2010年03月31日	地域に貢献する洞窟模型の製作—ミニ洞窟・洞窟写真・洞窟模型の製作・4ヶ国語(日英韓中)用語—、沢 勲・肥塚義明	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、2/, **-**, 2010。
31	2010年03月31日	巻頭言、由良 薫	洞窟環境NET学会紀要、1/, 1, 2010。
32	2010年03月31日	洞窟鉱物と洞窟環境、鹿島愛彦	洞窟環境NET学会紀要、1/, 2-5, 2010。
33	2010年03月31日	小豆島遍路と洞窟靈場の魅力、梶川 伸	洞窟環境NET学会紀要、1/, 6-11, 2010。
34	2010年03月31日	桑名氏によるアンケート調査に即した環境保険の研究、八頭司彰久	洞窟環境NET学会紀要、1/, 12-17, 2010。
35	2010年03月31日	都市イメージと都市活性化—「小京都」から「ゆるキャラ」まで—、上野 裕	洞窟環境NET学会紀要、1/, 18-21, 2010。
36	2010年03月31日	産業遺構、人工洞窟としての鉱山跡論考、藤浦 淳	洞窟環境NET学会紀要、1/, 22-29, 2010。
37	2010年03月31日	洞窟情報サロンの火山洞窟模型と社会貢献—洞窟写真・火山模型の製作・4ヶ国語(日英韓中)用語—、沢 勲・肥塚義明	洞窟環境NET学会紀要、1/, 30-37, 2010。
38	2010年03月31日	洞窟における模型製作と3ヶ国語(日英韓)の解説、沢 勲・上野 裕・肥塚義明	洞窟環境NET学会紀要、1/, 38-42, 2010。
39	2010年03月31日	トルコ、カッパドキアの人工洞窟の調査—宗教洞窟・絵画洞窟・地下洞窟—、肥塚義明・沢 勲	洞窟環境NET学会紀要、1/, 43-48, 2010。
40	2010年03月31日	洞窟の分類基準と系統図、洞窟編集部	洞窟環境NET学会紀要、1/, 49-51, 2010。
41	2010年03月31日	伊勢神宮の外宮と内宮の環境芸術、環境編集部	洞窟環境NET学会紀要、1/, 52-54, 2010。
42	2010年03月31日	野里住吉神社の神木の環境芸術、環境編集部	洞窟環境NET学会紀要、1/, 55-57, 2010。
43	2010年03月31日	洞窟写真展(大阪市西淀川区役所・大阪経済法科大学学園祭)、洞窟編集部	洞窟環境NET学会紀要、1/, 58-59, 2010。
44	2010年03月31日	「小京都」論と「大京都」形成—歴史都市京都の近代化、上野 裕	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、2/, x-xx, 2010。
45	2010年03月31日	四国の下部更新統にみとめられる氷食礫とその地質学的意義、鹿島 愛彦	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、2/, x-xx, 2010。
46	2010年03月31日	地域に貢献する洞窟模型の製作、沢勲・肥塚義明	大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、2/, x-xx, 2010。

	年月日	6.フィールドワーク(24回外国14件含む)	機関名
1	2007年03月24日	大分県中津市本耶馬渓町、青の洞門の調査	個人研究
2	2007年08月07日	愛知県豊橋市大岩町、豊橋市地下資源館見学と情報交換	環境地図研究会
3	2007年08月07日	静岡県浜松市引田町、竜ヶ岩洞の鍾乳石の調査	環境地図研究会
4	2007年08月07日	静岡県浜松市引田町、竜ヶ岩洞の洞窟資料館見学と情報交換	環境地図研究会
5	2007年08月07日	島根県大田市大森町、世界遺産・石見銀山遺跡洞窟の調査	個人研究
6	2008年09月02日	韓国济州道济州市、金寧里水中洞窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
7	2008年09月02日	韓国济州道济州市、世界遺産、萬丈窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
8	2008年09月02日	韓国济州道济州市、石文化公園の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
9	2008年09月03日	韓国济州道济州市、昭天窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
10	2008年09月03日	韓国济州道济州市、水中洞窟に関連する湧泉の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
11	2008年09月03日	韓国济州道济州市、双龍窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
12	2008年09月03日	韓国济州道济州市、挾才窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
13	2008年09月02日	韓国济州道济州市、金寧里水中洞窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
14	2008年09月02日	韓国济州道济州市、世界遺産、萬丈窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
15	2008年09月02日	韓国济州道济州市、石文化公園の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
16	2008年09月03日	韓国济州道济州市、昭天窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
17	2008年09月03日	韓国济州道济州市、水中洞窟に関連する湧泉の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
18	2008年09月03日	韓国济州道济州市、双龍窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
19	2008年09月03日	韓国济州道济州市、挾才窟の調査	国際火山洞窟学シンポジウム
20	2009年09月13日	トルコ共和国、ビエラポリスの人工石灰棚と温泉保養地	洞窟環境NET学会
21	2009年09月14日	トルコ共和国、バムッカレの人工石灰棚と温泉保養地	洞窟環境NET学会
22	2009年09月15日	トルコ共和国、カッパドキアのカイマフルの地下都市	洞窟環境NET学会
23	2009年09月16日	トルコ共和国、カッパドキアの洞窟教会、洞窟住居、奇岩	洞窟環境NET学会
24	2010年02月11日	なほなの里-LEDトンネルとオーロラ(火山噴火連想)	洞窟環境NET学会